

平成29年度千葉市消防局重点事業実施結果状況調査表

重点目標1 各種施策の推進による消防基盤の整備

	重点施策1 実施計画の事業遂行による消防局中長期計画の推進	実施状況	所管課
重点取組事項	<p>○千葉市新基本計画に基づく第2次実施計画（平成27年度～29年度）の最終年度であるため、期間中の事業目標に向け、計画事業を着実に実施するとともに、消防局中長期計画の更なる推進を図るため、次期実施計画（平成30年度～平成32年度）に各種事業を位置付けることで消防基盤の整備を図る。</p> <p>【成果指標】</p> <p>○第2次実施計画 計画事業の適正な進行管理 ○次期実施計画へ消防基盤のための各種事業の位置付け</p>	<p>○第2次実施計画の計画事業については、概ね達成することができた。 未達成となっている事業については、早期に達成できるように計画的に取り組んでいく。また、消防局中長期計画の更なる推進を図るため、第3次実施計画を策定した。</p> <p>○平成30年3月 第3実施計画策定済み。</p>	総務課
重点取組事項	<p>重点施策2 “市民に身近な消防”を目指すための消防広報の充実強化</p> <p>○防災対策、火災予防対策等の重要性について、市民の認識を高め、安全・安心のまちづくりを推進します。 ○パブリシティ等を有効に活用し、消防行政に対する理解と信頼の向上に努めます。 ○広聴業務により、市民ニーズの把握に努め、各種施策に反映させます。 ○災害情報等を迅速・的確に収集します。 ○消防音楽隊による消防広報及び火災予防等の広報活動を充実させます。</p> <p>【成果指標】</p> <p>○市民見学会等におけるアンケート 「消防の仕事などを理解した」と思う市民の割合：95% ○消防局ウェブサイト年間アクセス件数：245,000件 ○フェイスブックのいいね数：2,700件 ○ツイッターのフォロワー数：5,000件</p>	<p>実施状況</p> <p>○消防広報活動、予防広報活動、施設見学対応及び音楽活動等を実施し、ホームページやSNSを活用した広報活動を行った</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・報道機関に対する発表及び資料提供 485回</li> <li>・防火訓練等 1,197回 参加人員 83,755人</li> <li>・施設見学 191回 参加人員 9,810人</li> <li>・消防音楽隊の活動状況 53回</li> </ul> <p>《成果》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民見学会等におけるアンケート 「消防の仕事などを理解した」と思う市民の割合：95%</li> <li>・消防局ウェブサイト年間アクセス件数：192,881件（79%）</li> <li>・フェイスブックのいいね数：2,763件（102%）</li> <li>・ツイッターのフォロワー数：6,018件（120%）</li> </ul>	総務課

平成29年度千葉市消防局重点事業実施結果状況調査表

重点目標1 各種施策の推進による消防基盤の整備

重点施策3	消防団員確保のための施策の積極的な推進及び消防団装備等の充実強化	実施状況	所管課
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律（平成25年法律第110号）」に基づき、地域消防防災力向上のため、更なる消防団体制の充実強化を図ります。</li> <li>○大規模災害等に対応できる基本活動訓練、人材育成を行います。</li> <li>○消防団の新戦力の確保を図るために、各消防署の行事等において市民と消防団が身近に触れ合う活動を通じて、事業所・自治会・学生等へ積極的に消防団員の入団促進を図ります。</li> <li>○各種消防団関連制度の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○消防団体制の充実強化を図るため、機関運用訓練を5月に実施し、緊急走行をメインとした訓練を実施した。</li> <li>○大規模災害等に対応できるよう、入団3年程度の団員を対象に、基礎教育を実施し、また、分団長以上を対象に現場指揮課程を実施した。</li> <li>○各消防署で消防団入団の促進を行うとともに、プロスポーツ会場において、消防団のPR活動を実施した。</li> <li>○千葉市消防団協力事業所表示制度等の各種制度を推進するとともに、消防団器具置場の整備等を行い、活動体制の充実強化を図った。</li> </ul>	<p>総務課</p>
<p>重点 取 組 事 項</p>	<p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○消防団器具置場の整備 2棟（建築工事：登戸、実施設計：萩台）</li> <li>○小型動力ポンプ付き積載車の整備 1台（萩台）</li> <li>○消防団装備の充実強化（デジタル無線機、救命胴衣の整備）</li> <li>○女性消防団活動訓練の3か年計画の推進</li> <li>○消防団入団促進活動の実施（秋・春の火災予防運動、救急フェア等、各消防署管内で実施）：6消防署×4回（イベント数）＝計24回実施</li> <li>○千葉市消防団協力事業所登録数 6事業所増（累計48事業所）</li> <li>○千葉市消防団応援事業所登録数 60店舗増（累計145店舗）</li> <li>○学生消防団員数 4人増</li> <li>○消防団充足 100%（目標値840人／定員840人）</li> </ul>	<p>《成業》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○消防団器具置場の整備2棟（建築工事：登戸、実施設計：萩台） 100%</li> <li>○小型動力ポンプ付積載車の整備（萩台） 100%</li> <li>○消防団装備の充実強化（デジタル無線3基、救命胴衣80着）</li> <li>○女性消防団活動訓練の3か年計画の推進 一部資料の作成遅れ＝90%</li> <li>○消防団入団促進活動の実施 6消防署×4回、各プロスポーツ会場での実施 38回（158%）</li> <li>○千葉市消防団協力事業所登録数 2事業所増（33%）（累計44事業所）</li> <li>○千葉市消防団応援事業所登録数 13店舗増（21%）（累計98店舗）</li> <li>○学生消防団員数 7人増（175%）</li> <li>○消防団充足 739人／840人＝88%</li> </ul>	

平成29年度千葉市消防局重点事業実施結果状況調査表

重点目標2 優秀な人材の確保及び人事管理体制の充実

重点施策4		優秀な人材の確保	実施状況	所管課
重点 取組 事項	<p>○既存の消防力を維持・強化するためには、優秀な人材確保が必要不可欠であることから、消防職員採用試験において一定の受験者数を確保するため、学校訪問及び就職説明会等に積極的に参加するとともに、ウェブサイト等を活用した広報活動を行い、職員募集の働きかけを行います。特に、専門系（建築・電気・化学）の採用区分については、受験者数を確保するために、重点的に働きかけを行います。</p> <p>○女性活躍推進法の施行に伴い、女性の活躍に関する必要な取り組みを検討します。</p>		<p>○学校訪問及び学校説明会に積極的に参加し、一定の消防職員採用試験の受験者数を確保した。</p> <p>なお、専門系についても理工系の大学への学校訪問及び就職説明会へ参加するなど重点的に働きかけを行うも、受験者増に結びついていないことから、更なる取組みが必要である。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校訪問数：53校（うち理工系：22校）（春） 26校（うち理工系：21校）（秋）</li> <li>・就職説明会等参加数：26回</li> </ul> <p>○女性の活躍に関する必要な取り組みを実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・女性向け職場体験の実施（参加人数25人）</li> <li>・女性向け説明会への参加</li> <li>・ウェブサイト等を活用した積極的な広報活動の実施</li> </ul>	人事課
	<p>【成果指標】</p> <p>○採用試験受験倍率の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・採用試験上級（行政）受検倍率 18.6倍</li> <li>・採用試験上級（建築・電気・化学）受検倍率 4.4倍</li> <li>・採用試験初級受検倍率 14.2倍</li> </ul> <p>○女性消防吏員確保のための取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・女性を対象とした学校訪問の春・秋季実施</li> <li>・女子学生等に向けた職場体験の実施</li> </ul> <p>○平成30年度の助成消防吏員採用予定数 3人増</p>		<p>《成果》</p> <p>○採用試験受験倍率の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・採用試験上級（行政）受検倍率 19.8倍</li> <li>・採用試験上級（建築・電気・化学）受検倍率 1.7倍</li> <li>・採用試験初級受検倍率 14.4倍</li> </ul> <p>○女性消防吏員確保のための取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・春季、秋季に1回学校訪問を実施（5月、11月）</li> <li>・女性向け職場体験を年2回実施（8月、3月）</li> </ul> <p>○平成30年4月1日の女性消防吏員採用 4人</p>	
重点施策5		健康管理対策の推進	実施状況	所管課
重点 取組 事項	<p>○健康管理に関する各種講習会等の受講を推進します。</p> <p>○心身の健康障害の予防、早期発見及び早期治療を推進します。</p>		<p>○各種研修の積極的な参加により、健康管理への意識を高めた。</p> <p>○定期健康診断結果を受けた二次検診の受検等、心身の健康障害を早期発見により防止した。</p>	人事課
	<p>【成果指標】</p> <p>○各種健康管理研修会参加人数80人（過去3年間平均：79.3人）以上</p> <p>○心身の健康障害の予防及び早期発見、早期治療</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・健康診断二次検診受検率 100%</li> <li>・ストレスチェックの受検率 100%</li> </ul>		<p>《成果》</p> <p>○各種健康管理研修会参加人数 264名</p> <p>○心身の健康障害の予防及び早期発見、早期治療</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・健康診断二次検診受検率 89.4%</li> <li>・ストレスチェックの受検率 100%</li> </ul>	

平成29年度千葉市消防局重点事業実施結果状況調査表

重点目標3 消防施設及び消防車両の整備による消防力の充実強化

重点施策6 消防庁舎等の整備		実施状況	所管課
重点取組事項	<p>○消防活動拠点としての機能を確保するため、消防庁舎の建替事業等を推進します。</p> <p>○消防庁舎等の機能及び環境を維持するため、修繕を行い職場環境の充実を図ります。</p>	<p>○消防庁舎の建替事業等を推進した。</p> <p>○消防庁舎等の修理、改善を行い、職場環境の充実を図った。</p>	施設課
	<p>【成果指標】</p> <p>○あすみが丘出張所（仮称）の新設に係る実施設計の実施</p> <p>○消防局・中央消防署合同庁舎の電源設備等改修工事の実施</p> <p>○稲毛消防署及び殿台出張所の空調設備改修工事等の実施</p>	<p>《成果》</p> <p>○あすみが丘出張所（仮称）の新設に係る実施設計を実施中（平成30年度に繰越）</p> <p>○消防局・中央消防署庁舎の電源設備等改修工事を計画どおり実施した。（平成30年3月工事完了）</p> <p>○稲毛消防署及び殿台出張所の空調設備改修工事等を計画どおり実施した。（平成29年12月工事完了）</p>	
重点施策7 消防車両等の整備		実施状況	所管課
重点取組事項	<p>○車両更新計画に基づき、計画的に消防車両等を整備し、消防力の維持向上を図ります。</p> <p>○NOx・PM法に適合していない車両（猶予期間中）について、低公害車への更新を図ります。</p> <p>○消防車両等の計画的な法定点検整備及び迅速な修繕対応等により、安定した消防力を確保します。</p>	<p>○車両更新計画に基づき、10台を更新し消防力の維持向上を図った。</p> <p>○NOx・PM法に抵触する車両については、低公害車へ更新した。（化学消防車、泡原液搬送車）</p> <p>○消防車両等の法定点検整備の平準化については、12台（消防団車両1台を含む）を実施し、安定した消防力を確保した。</p>	施設課
	<p>【成果指標】</p> <p>○消防車両等の導入（導入台数／導入予定台数）＝100%</p> <p>《導入予定車両》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・水槽付消防ポンプ自動車 1台（畑）</li> <li>・消防ポンプ自動車 1台（西千葉）</li> <li>・高規格救急自動車 4台（西千葉、桜木、美浜、高浜）</li> <li>・梯子付消防自動車 1台（中央）</li> <li>・化学消防車 1台（高浜）</li> <li>・泡原液搬送車 1台（高浜）</li> <li>・照明電源車 1台（緑）</li> </ul>	<p>《成果》</p> <p>○消防車両等の更新（更新台数／更新予定台数10台）＝100%</p> <p>《更新車両》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・水槽付消防ポンプ自動車 1台（畑）</li> <li>・消防ポンプ自動車 1台（西千葉）</li> <li>・高規格救急自動車 4台（西千葉、桜木、美浜、高浜）</li> <li>・梯子付消防自動車 1台（高浜）</li> <li>・化学消防車 1台（高浜）</li> <li>・泡原液搬送車 1台（打瀬）</li> <li>・照明電源車 1台（緑）</li> </ul>	

平成29年度千葉市消防局重点事業実施結果状況調査表

重点目標4 学校教育の充実による人材育成の推進

重点施策8		教育内容の充実及び新規採用職員の育成	実施状況	所管課
重点 取組 事項	<p>○実践的な教育訓練を充実させ、消防職団員の災害対応能力の向上を図ります。 ○新規採用職員（初任科生）の資質の向上を図ります。</p>		<p>○実践的な教育訓練を充実させ、消防職団員の災害対応能力の向上を図った。 ○新規採用職員（初任科生）の資質の向上を図った。</p>	消防学校
	<p>【成果指標】 ○平成29年度実科系訓練時間＞平成28年度実科系訓練時間 （消防職員：282時間・消防団員：10時間） ○新規採用職員の効果測定結果「優」取得率 67%</p>		<p>《成果》 ○平成29年度実科系訓練時間＞平成28年度実科系訓練時間 （平成29年度実績 消防職員：308時間、消防団員：11時間） ○新規採用職員の効果測定結果「優」取得率 68.8%</p>	
重点施策9		教育指導体制の充実	実施状況	所管課
重点 取組 事項	<p>○消防学校職員を他教育機関等に派遣し、指導能力の向上を図ります。 ○災害現場活動、火災原因調査、立入検査等について学習する消防教育訓練システム（消防職員向けeラーニング）を充実させます。</p>		<p>○消防学校職員を他教育機関等に派遣し、指導能力向上を図った。 ○消防教育システムeラーニングの教材作成を所管課に依頼し、消防教育訓練システムの充実を図った。</p>	消防学校
	<p>【成果指標】 ○消防学校職員の派遣回数 10回 ○消防教育訓練システムの充実 ・新システムの運用開始（10月） ・新システムの学習可能教材数 10教材</p>		<p>《成果》 ○他教育機関等への派遣実績：計14回 21人 ・全国消防学校長会会議関係 計5回 9人 ・東京消防庁消防学校 計1回 1人 ・横浜市消防訓練センター 計1回 1人 ・千葉県消防学校 計6回 9人 ・消防大学校（女性活躍推進コース）計1回 1人 ○消防教育訓練システムを10月から運用開始 ・学習可能教材数 17教材</p>	
重点施策10		教育訓練環境の整備	実施状況	所管課
重点 取組 事項	<p>○消防職団員の教育訓練に係る施設及び資機材を充実させます。</p>		<p>○空調設備の改修と救急訓練用高度シミュレーターを増配置し施設及び資機材の充実を図った。</p>	消防学校
	<p>【成果指標】 ○消防学校の教室等の空調設備改修 ○救急訓練用高度シミュレーターの増配置 1体</p>		<p>《成果》 ○空調設備改修：管理棟1階女子更衣室、管理塔2階教室一部 宿舎棟1階和室、2階寮室206～209号室 ○救急訓練用高度シミュレーター4体増配置</p>	

平成29年度千葉市消防局重点事業実施結果状況調査表

重点目標5 大規模災害等に備えた消防活動体制の充実強化

重点施策11	消防・救助体制の充実強化	実施状況	所管課
重点取組事項	<p>○指揮隊の災害現場における指揮体制の強化をはじめ、消防力の向上を図ります。                      ○大規模災害及び複雑多様化する災害に対応するため、消防・救助資機材の充実強化を図ります。                      ○大規模地震等に備えた消防水利の整備推進を図ります。</p>	<p>○各種訓練等を実施し、指揮体制の強化及び消防力の向上を図った。                      ○老朽した消防・救助資機材の更新を行うとともに、新基準に適合した個人装備品を導入する等、消防・救助資機材の充実強化を図った。                      ○消防水利整備方針を策定し、大規模地震等に備えた消防水利の整備推進を図った。</p>	警防課
	<p>【成果指標】                      ○指揮体制の強化・消防力の向上                          ・警防計画の見直し及び同計画に基づく図上訓練及び現地訓練の実施                          ・消防活動基準の見直し                          ・消防技能管理基準総合判定B級以上の者 98%                          ・警防技術大会の実施（10月下旬）                          ・特別救助隊員の基礎技術訓練及び基礎能力確認の実施                      ○消防・救助資機材の充実強化                          ・エアータントの更新 2張                          ・防火衣等の個人装備品及び車両積載資機材の更新                      ○消火栓及び防火水槽整備計画に基づく防火水槽の整備</p>	<p>《成果》                      ○指揮体制の強化・消防力の向上を図るため、次のとおり訓練等を実施した。                          ・警防計画の見直しを図るとともに、同計画に基づく図上訓練（982回）及び現地訓練（536回）を実施した。                          ・消防活動基準の見直しを行うため、検討委員会を設置した。                          ・消防技能管理基準に基づく訓練を実施し、総合判定B級以上の者99.3%を達成した。                          ・警防技術大会を10月30・31日に実施した。                          ・救助隊員の基礎能力確認を実施し、等級1の者100%を達成した。                      ○消防・救助資機材の充実強化を図るため、応急救護所用エアータント2基及び大規模災害用重量物排除用器具（マット型空気ジャッキ）1基の更新を行うとともに、個人防火装備ガイドラインに適合した防火帽（350個）を導入した。                      ○消防水利整備方針（防火水槽整備計画）に基づく防火水槽の整備推進を図り、第3次実施計画（H30年度～H32年度）において、防火水槽新設に係る3か所の土質調査、実施設計及び2基の新設工事が位置付けられた。</p>	

平成29年度千葉市消防局重点事業実施結果状況調査表

重点目標5 大規模災害等に備えた消防活動体制の充実強化

重点施策12	大規模災害等に備えた消防・救助技能の向上	実施状況	所管課
重点 取 組 事 項	<p>○大規模災害時における広域消防応援体制の充実強化を図ります。 ○NBC災害等特殊災害能力の向上を図ります。 ○都市型災害に対応した救助技能の向上を図ります。</p>	<p>○大規模地震を想定した震災対応訓練等を実施し、大規模災害時における広域消防応援体制の充実強化を図った。 ○NBC災害等に対する研修及びCBRNE訓練等を実施し、NBC災害等特殊災害能力の向上を図った。 ○都市型災害を想定した救助訓練等を実施し、都市型災害に対応した救助技能の向上を図った。</p>	警防課
	<p>【成果指標】</p> <p>○大規模災害に備えた消防応援体制の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・震災対応訓練（非常招集訓練・各種対策本部運営訓練）の実施（6月）</li> <li>・緊急消防援助隊関東ブロック合同訓練（群馬県）への参加</li> <li>・千葉県消防広域応援隊合同訓練への参加</li> </ul> <p>○NBC災害等特殊災害対応能力の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・NBC災害対応訓練（図上訓練2回、実動訓練1回）</li> <li>・CBRNE研修会参加促進（年7回）</li> </ul> <p>○救助技能の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・都市型救助訓練の実施</li> <li>・国際消防救助隊千葉県連携訓練への参加</li> </ul>	<p>《成果》</p> <p>○大規模災害に備えた消防応援体制の向上を図るため、次のとおり各種訓練を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・6月10日 震災対応訓練実施</li> <li>・10月24・25日 緊急消防援助隊関東ブロック合同訓練実施</li> <li>・1月26・27日 千葉県消防広域応援隊合同訓練実施</li> </ul> <p>○NBC災害等特殊災害対応能力の向上を図るため、放射線医学総合研究所及び千葉県警等と共同で、次のとおり研修会等を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・CBRNE研修 7回</li> <li>・NBC災害対応訓練（図上訓練2回、実動訓練1回）</li> </ul> <p>○救助技能の向上を図るため、次のとおり救助訓練を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・都市型救助訓練 111回</li> <li>・国際消防救助隊登録消防本部（7本部）と合同で、11月14・15日に船橋市内にて連携訓練を実施した。</li> </ul>	

平成29年度千葉市消防局重点事業実施結果状況調査表

重点目標6 市民の安全・安心を守る救急体制の充実強化

重点施策13	応急手当普及啓発活動の充実強化及び救急需要対策の推進	実施状況	所管課
重点取組事項	<p>○応急手当普及啓発活動を推進します。 ○救急需要対策を推進します。</p>	<p>○市民（応急手当（ジュニア）インストラクター等）と協働し、年間を通し応急手当普及啓発を推進した。 ○医療機関向けの「救急現状説明会」を実施し、救急の現状及び転院搬送ガイドラインについて情報を共有した。 さらに、市民活動団体との協働事業についても地域を拡充し、需要対策推進活動にあたった。</p>	救急課
	<p>【成果指標】</p> <p>○応急手当普及啓発活動の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各種救命講習年間受講者数 18,500人</li> <li>  ／普通救命講習（応急手当WEB講習を含む）・上級救命講習 10,500人</li> <li>  ／短時間救命講習（こども救命講習・女性救命講習を含む） 8,000人</li> <li>・市民（応急手当インストラクター・ジュニアインストラクター）と協働した救命講習の開催 120回</li> <li>・関係機関（日本赤十字社・市医師会・行政各部局等）と連携した救命講習の開催</li> </ul> <p>○救急需要対策の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・転院搬送に関するガイドラインの策定</li> <li>・医療機関向けの「救急現状説明会」の開催</li> <li>・市民活動団体との協働による救急車の不適切な頻回利用者対策の実施</li> </ul>	<p>《成果》</p> <p>○関係各機関と連携体制を強化し、応急手当普及啓発を推進した。</p> <p>○救命講習年間受講者数19,380人（104%）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・普通救命講習（応急手当WEB講習を含む）</li> <li>・上級救命講習 8,733人（83%）</li> <li>・短時間救命講習（こども救命講習、女性救命講習を含む）9,850人（123%）</li> <li>・市民（応急手当インストラクター、ジュニアインストラクター）と協働した救命講習 212回（176%）</li> <li>・関係機関（日本赤十字社・市医師会・行政各部局等）と連携した救命講習 510回</li> </ul> <p>○救急需要対策の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「転院搬送に関するガイドライン」を策定し、平成29年8月21日から運用を開始した。</li> <li>・平成29年8月18日に病院をはじめ、関係機関（診療所、行政搬送事業者）総勢59名に対し救急現状説明会を実施。</li> <li>・市民活動団体との協働事業については、対象地域を拡充し対象者29名、要請回数585件に対し事業を実施した結果対象者13名、要請回数342件と減少した。</li> </ul>	



平成29年度千葉市消防局重点事業実施結果状況調査表

重点目標6 市民の安全・安心を守る救急体制の充実強化

重点施策14	救急業務高度化の推進	実施状況	所管課
重点取組事項	<p>○ICT（救急情報共有システム）を活用した救急業務を推進します。                      ○救急救命士の養成及び資格取得を推進します。                      ○救急救命士を含む救急隊員の教育を推進します。</p>	<p>○救急情報共有システム協力医療機関を21医療機関に拡充した。                      ○新規救急救命士を4人養成したほか、延べ67人に認定資格を取得させた。                      ○救急ワークステーション等で救急救命士を含む救急隊員の教育を実施した。</p>	救急課
	<p>【成果指標】                      ○ICTを活用した救急業務                      ・端末設置医療機関の拡充                      ・救急現場滞在時間の短縮                      ○救急救命士の養成及び資格取得                      ・救急救命士（新規） 4人                      ・気管挿管認定救急救命士 2人                      ・ビデオ硬性挿管用喉頭鏡認定救急救命士 4人                      ・薬剤投与認定救急救命士 2人                      ・救急救命士処置範囲拡大（拡大二行為認定救急救命士） 4人                      ○救急隊員の知識や技術の向上を目的とした救急ワークステーション及び研修協力医療機関での教育                      ・救急救命士の再教育 127人                      ・救急救命士以外の一般救急隊員の再教育 180人</p>	<p>《成果》                      ○ICTを活用した救急業務                      ・端末設置医療機関数 20医療機関→21医療機関                      ・救急現場滞在時間 H28年度20.5分→H29年度19.9分                      ○救急救命士の養成及び資格取得                      ・救急救命士（新規） 4人（100%）                      ・気管挿管認定救急救命士 4人（200%）                      ・ビデオ硬性挿管用喉頭鏡認定救急救命士 5人（125%）                      ・薬剤投与認定救急救命士 25人（1,250%）                      ・救急救命士処置範囲拡大（拡大二行為認定救急救命士） 29人（725%）                      ○救急隊員の知識や技術の向上を目的とした救急ワークステーション及び研修協力医療機関での教育                      ・救急救命士の再教育 127人（100%）                      ・救急救命士以外の一般救急隊員の再教育 200人（111%）</p>	

平成29年度千葉市消防局重点事業実施結果状況調査表

重点目標7 安心して通報できる消防指令体制の充実強化

重点施策15 災害発生に備えた消防指令体制の充実強化		実施状況	所管課
重点取組事項	<p>○ちば消防共同指令センター機器更新計画に沿って、各種事業を推進します。 ○災害現場での通信環境を確保するため、無線機器の更新を行います。</p>	<p>○「ちば消防共同指令センター機器更新計画」を策定した。 ○無線機の機能及び性能について調査を行い更新した。</p>	指令課
	<p>【成果指標】 ○ちば消防共同指令センターの指令機器の更新に向け、関係機関との調整を実施 ○署活系携帯無線機の更新 26式</p>	<p>《成果》 ○協議会において指令機器更新計画が承認された。100% ○署活系携帯無線機26式を更新した。100%</p>	
重点施策16 無線通信機器の取扱いに係る人材育成及び大規模災害への対応力強化		実施状況	所管課
重点取組事項	<p>○各種無線技士の養成を推進します。 ○無線中継車の取扱訓練及び無線資格者の要請を行い、大規模災害に備えます。</p>	<p>○必要配置箇所での人選を行った。 ○年間の訓練計画を策定した。</p>	指令課
	<p>【成果指標】 ○無線技士の養成 7人 ・第一級陸上特殊無線技士 1人 ・第二級陸上特殊無線技士 1人 ・航空特殊無線技士 4人 ・第二級海上特殊無線技士 1人 ○無線中継車の映像配信訓練・無線中継訓練 12回</p>	<p>《成果》 ○第一級陸上特殊無線技士1名、航空特殊無線技士5名、第二級海上特殊無線技士1名、計7人を養成した。(100%) ○無線中継車の映像配信訓練・無線中継訓練を37回実施した。(308%)</p>	

平成29年度千葉市消防局重点事業実施結果状況調査表

重点目標8 機動力を活用した航空消防体制の充実強化

重点施策17		安全運航体制の充実強化	実施状況	所管課
重点 取組 事項	<p>○安全運航体制を充実させるため、各種訓練を実施し、不安全要素に対する洞察力の向上を図ります。</p> <p>○各種講習会等へ積極的に参加し、安全運航に関する知識及び技術の向上に努めます。</p>		<p>・安全運航体制を充実させるため、各種訓練を実施した。</p> <p>・安全運航に関する知識及び技術の向上を図るため、各種講習会へ参加した。</p>	航空課
	<p>【成果指標】</p> <p>○各種訓練の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・操縦訓練 30回</li> <li>・隊員訓練 20回</li> <li>・防災訓練 20回</li> </ul> <p>○各種講習会への参加</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・計器飛行訓練 4人</li> <li>・全国航空消防防災協議会 1人</li> <li>・整備関係講習会 2人</li> </ul> <p>○無事故飛行の延伸 7,750時間 ※平成28年12月31日現在7,550時間</p>			
重点施策18		救助隊、消防隊及び救急隊との連携訓練による航空消防活動の充実強化	実施状況	所管課
重点 取組 事項	<p>○連携航空救助員の養成を行い、航空救助活動の充実強化を図ります。</p> <p>○救助隊との連携救助訓練及び消防隊、救急隊とのドクターピックアップ救急活動連携訓練を実施し、災害対応能力の向上を図ります。</p>		<p>・連携航空救助員の養成訓練を行った。</p> <p>・救助隊と連携訓練を実施した。また、消防隊及び救急隊とドクターピックアップ救急活動連携訓練を行った。</p>	航空課
	<p>【成果指標】</p> <p>○連携航空救助員の養成 6人</p> <p>○救助隊及び救急隊等との連携訓練 20回</p>			
重点施策19		県内消防機関との連携強化	実施状況	所管課
重点 取組 事項	<p>○県内消防機関との実災害を想定した連携訓練を実施し、広域的な活動を推進します。</p>		<p>・県内消防機関と実災害を想定した連携訓練を実施した。</p>	航空課
	<p>【成果指標】</p> <p>○県内消防機関を対象とした連携訓練の実施 10消防機関</p>			

平成29年度千葉市消防局重点事業実施結果状況調査表

重点目標9 市民の安全・安心を守る火災予防行政の推進

	重点施策20 住宅防火対策の推進	実施状況	所管課
重点取組事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>○住宅用火災警報器など住宅用防災機器等の設置及び交換等の適切な維持管理を推進します。</li> <li>○感震ブレーカー等の設置を推進します。</li> <li>○住宅火災出火原因の上位を占める放火火災防止対策を推進します。</li> <li>○幼少年から高齢者まで各世代で必要とされる防火知識の普及啓発を図ります。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○インターネット、HPや町内会回覧にて維持管理方法を周知するとともに、イベント等で維持管理に対して広報した。</li> <li>○デモ機やリーフレットを活用し、市政出前講座や各種イベントを通じて、普及啓発活動を行った。</li> <li>○防犯パトロール隊や防犯ウォーキング隊など地域を見守る方たちに対し、放火火災防止の協力案内をし、放火対策を講じた。</li> <li>○各種世代に対して施設見学や防火防災訓練等の折りに防火教育・防火講話を行った。また、イベント等で住宅防火リーフレットの配布を行った。</li> </ul>	<p>予防課</p>
	<p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○住宅用火災警報器の設置世帯数（自動火災報知設備等を設置する世帯を含む。） ／市内対象世帯数 =89.9%（平成28年6月：89.6%）</li> <li>○住宅防火講話（住宅用火災警報器維持管理及び感震ブレーカー等普及促進等） 370回</li> <li>○感震ブレーカー等の設置推進 <ul style="list-style-type: none"> <li>・デモ機、リーフレット等を活用した説明会の実施</li> <li>・補助制度の創設に向けた対象地域の調査・検討等</li> </ul> </li> <li>○一人暮らしの高齢者を対象とした住宅防火訪問指導 120回</li> <li>○幼少年向け住宅防火教育 213回 <ul style="list-style-type: none"> <li>・未就学児 79施設（市内保育所・幼稚園等236施設／3年）</li> <li>・小学生 113校（市内小学校113校：全小学4年生対象）</li> <li>・中学生 21校（市内中学校61校／3年）</li> </ul> </li> </ul>	<p>《成果》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○住宅用火災警報器の設置世帯数 2,157世帯/2,417世帯=89.2%</li> <li>○住宅防火講話 356件/370件=96.2%</li> <li>○デモ機8機、リーフレット30,000枚作成</li> <li>○一人暮らしの高齢者を対象とした住宅防火訪問指導 115件/120件=95.8%</li> <li>○幼少年向け住宅防火指導 217件/213件=101.2%</li> </ul>	

平成29年度千葉市消防局重点事業実施結果状況調査表

重点目標9 市民の安全・安心を守る火災予防行政の推進

重点施策21	火災調査体制の充実強化	実施状況	所管課
重点取組事項	<p>○火災調査に係る集合研修及び火災現場等における実地研修により、火災調査に対する経験値を上げ、より高度な調査技術を習得させ、調査員の知識、技術の向上を図ります。</p> <p>○火災調査から得られた調査結果を有効活用し、類似火災防止と火災原因不明率の低減化を図ります。</p>	<p>○火災調査研修会6科目(資機材取扱、電気鑑識要領、ガス機器鑑識要領、実規模建物実習、車両火災研修、火災調査と訴訟)、職員教育のための実況見分の見学8回、火災調査員ゼミナール1回、火災調査事務研修会1回、火災調査マニュアル説明会12回を実施し、広く職員の知識・技術の向上を図った。</p> <p>○火災調査結果を基に作成した統計結果を、市民広報の資料等に記載し、類似火災防止の広報に活用した。</p> <p>○平成29年4月に若葉区で発生した車両火災事案については、製品の不具合によることが判明したため、製造事業者に対し、火災予防上の適切な対応を取ることに付いての要望書を提出し、再発防止を促した。</p>	予防課
	<p>【成果指標】</p> <p>○火災調査に係る各種研修の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・火災調査に係る集合研修(6科目×50人=300人)</li> <li>・火災現場等における実地研修(12回×5人=60人)</li> </ul> <p>○火災原因不明率 3.00%以下(火災原因不明/火災件数)</p> <p>○類似火災防止のための火災調査結果の有効活用(火元者・事業所・製品製造メーカーへの積極的な指導・助言)</p>	<p>《成果》</p> <p>○火災調査研修会5科目開催 参加者合計357人 357人(5科目)/300人(6科目)=119%</p> <p>○職員教育のための実況見分の見学会8回開催 参加合計33人 33人(8回)/60人(12回)=55%</p> <p>○火災原因不明率(火災原因不明/火災件数) 4件/263件=1.52%</p>	

平成29年度千葉市消防局重点事業実施結果状況調査表

重点目標9 市民の安全・安心を守る火災予防行政の推進

重点施策22	市民との協働による自主防火の推進	実施状況	所管課
重点取組事項	<p>○千葉市中央地区商店街協議会（以下「中商協」という）と協働し、地域における防災力の向上と建物の防火安全性の向上を図るため、中商協会員等による防火パトロールを実施し、建物等周辺における放火危険因子等を早期に発見するとともに、火災予防の普及啓発を行います。</p> <p>○効果的な火災予防の啓発が実施できるよう中商協会員及び建物関係者に対し防火推進員養成講座を開催します。</p>	<p>○千葉市中央地区商店街協議会に加盟する商店街ごとに当該地区内の防火・防犯パトロールを実施するとともに、防火に関するリーフレットの配布を行った。</p> <p>○千葉市中央地区商店街協議会会員及び建物関係者に対して、防火推進員養成講座を開催した。</p>	<p>予防課</p>
	<p>【成果目標】</p> <p>○中央地区(中商協が所存する地区)内建物における消防法令違反(防火管理者未選任、消防用設備等の点検未実施・未報告等)の未然防止及び火災危険因子等の早期発見</p> <p>○火災予防啓発活動による建物の防火管理対策の充実強化及び地域防災力の向上</p> <p>○防火推進員養成講座の開催 2回</p>	<p>《成果》</p> <p>○中央地区(中商協が所存する地区)内建物における消防法令違反(防火管理者未選任、消防用設備等の点検未実施・未報告等)の未然防止及び火災危険因子等の早期発見</p> <p>防火・防犯パトロール 合計77回、延べ444人参加 平成27年度末→平成28年度末→平成29年度末</p> <p>防火管理者選任率 51.2%→51.6%(0.4pt改善)→82.4%(30.8pt改善)</p> <p>消防用設備等点検報告率 48.0%→53.2%(5.2pt改善)→53.9%(0.7pt改善)</p> <p>○火災予防啓発活動による建物の防火管理対策の充実強化及び地域防災力の向上</p> <p>防火に関するリーフレットの配布数 886枚</p> <p>○防火推進員養成講座の開催</p> <p>防火推進員養成講座 2回開催、組合員等 18名受講</p>	

平成29年度千葉市消防局重点事業実施結果状況調査表

重点目標10 査察業務の推進による火災予防対策の的確な対応

重点施策23	消防法令違反の早期是正による人命危険の排除	実施状況	所管課
重点取組事項	<p>○自動火災報知設備未設置等の重大な消防法令違反対象物及び防火管理者未選任等の消防法令違反対象物に対する違反是正を推進します。</p> <p>○法令改正により、新たに消防用設備等の設置が義務付けられた社会福祉施設等に対して立入検査等による指導を徹底します。</p> <p>○高度かつ専門的知識を必要とする査察業務・指導業務の質の向上を目指すため、所管課教育を充実させるとともに、高度な専門知識、技術を有する予防業務における人材を計画的に要請するため、予防技術資格者等の育成を推進します。</p> <p>○火薬類取締法に係る事務を的確に執行するための高度な知識・技術を有する人材の育成を図ります。</p>	<p>○重大な消防法令違反及び防火管理者未選任等の消防法令違反があった防火対象物に対して、違反の是正が図られた。</p> <p>○消防法令改正に伴い規制強化の対象となる社会福祉施設等に対して、立入検査等による指導を実施し、火災予防対策の推進を図った。</p> <p>○予防技術検定受検者に対して、所管課教育、プレテスト等を実施し、予防技術検定合格の支援を行った。</p> <p>○火薬類取締法に関する各種講習を受講した。</p>	予防課
	<p>【成果指標】</p> <p>○火災危険性の高い防火対象物への的確な対応</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・重大な消防法令違反対象物に対する違反是正達成率 100%</li> <li>・違反対象物に対する是正等の成果達成率 100%</li> </ul> <p>(平成29年度是正等の成果達成数/平成29年度査察実施計画数)</p> <p>○新たに規制対象となる社会福祉施設等に対する立入検査等による指導実施率 100%</p> <p>(立入検査実施数+消防訓練立会い+法令改正に関するリーフレットの郵送等による指導数/対象施設数)</p> <p>○査察業務の所管課教育の実施 4研修</p> <p>○予防技術資格の資格者育成</p> <p>○火薬類取締法及び高圧ガス保安法に係る外部機関主催の講習会の受講等</p>	<p>《成果》</p> <p>○火災危険性の高い防火対象物への的確な対応</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・重大な消防法令違反対象物に対する違反是正達成率66.1%</li> </ul> <p>(違反是正達成対象物数37/重大な消防法令違反対象物数56)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・違反対象物に対する是正等の成果達成率 90.5%</li> </ul> <p>(平成29年度是正等の成果達成数4,178(是正済3,228、部分是正950)/平成29年度査察実施計画数4,618)</p> <p>○新たに規制対象となる社会福祉施設等に対する立入検査等による指導実施率 98.2%</p> <p>(立入検査実施数137+消防訓練立会い24/対象施設数164)</p> <p>○査察業務の所管課教育の実施 6研修実施 294人受講</p> <p>○予防技術資格の資格者育成</p> <p>予防技術検定合格者</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「防火査察専門員」 11人</li> <li>・「消防用設備等専門員」 3人</li> <li>・「危険物専門員」 3人</li> </ul> <p>○火薬類取締法及び高圧ガス保安法に係る外部機関主催の講習会の受講等 延べ7件講習受講(担当職員2人)</p>	

平成29年度千葉市消防局重点事業実施結果状況調査表

重点目標10 査察業務の推進による火災予防対策の的確な対応

重点施策24	旅館、ホテル等における防火基準適合表示制度等の推進	実施状況	所管課
重点取組事項	<p>○東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会開催に向け、宿泊者等の安全を確保するため、旅館、ホテル等における防火対象物点検報告制度、防災管理点検報告制度及び防火基準適合制度を推進します。</p>	<p>○平成29年度より対象範囲を3階建て以上から2階建て以上に拡大し、地階を除く2階建て以上で収容人員が30名以上のホテル・旅館等(複合用途の建物内にホテル・旅館等がある場合を含む。)を対象として防火基準適合制度を推進した。</p>	予防課
	<p>【成果指標】 ○防火・防災基準点検済証及び防火・防災優良認定証交付の推進 ○表示マーク交付率(交付済数/表示対象物数) 40%</p>	<p>《成果》 ○防火・防災基準点検済証及び防火・防災優良認定証交付の推進 3年間継続して基準に適合した建物において掲出できる表示マーク(金)の交付及び交付式を開催し、この制度を更に推進するため、報道機関を通じて広く情報提供を実施するとともに、ケーブルテレビを活用した表示制度の広報を実施。 ○表示マーク交付率 24%(交付済数23/表示対象物数96) うち金マーク交付済み対象物数 18</p>	
重点施策25	危険物製造所等及び特定事業所の保安確保	実施状況	所管課
重点取組事項	<p>○危険物製造所等の基準適合状況、維持管理状況及び危険物の貯蔵又は取扱いに係る保安を確保します。 ○特定事業所の自衛防災組織体制の充実強化及び対応能力の質的向上に関する指導を引き続き推進します。</p>	<p>○立入検査を計画的に実施し、保安の確保を指導している。 ○立入検査等を通じて自衛防災体制や対応能力に関して指導している。</p>	予防課
	<p>【成果指標】 ○危険物製造所等(特定事業所含む)に対する査察実施率 100% ○特定事業所の自衛防災組織に対する継続的な指導の実施</p>	<p>《成果》 ○危険物製造所等(特定事業所含む)に対する査察実施率 115%(立入検査実施数985/立入検査計画数859) ○特定事業所の自衛防災組織に対する継続的な指導の実施 危険物製造所等の立入検査時に自衛防災体制や対応能力に関する指導を行った。</p>	



平成29年度千葉市消防局重点事業実施結果状況調査表

重点目標11 保安確保のための指導行政体制の整備

重点施策26	火薬類取締法等に係る円滑な業務推進及び高圧ガス保安法に係る権限の移譲に向けた体制の整備	実施状況	所管課
重点取組事項	<p>○火薬類施設の基準適合状況、維持管理状況及び火薬類の貯蔵又は取扱いに係る保安を確保します。</p> <p>○「地域の自主性及び自立性を高めるための改革の推進を図るための関係法律の整備に関する法律」（第5次地方分権一括法）が平成27年6月26日に公布され、現在、千葉県が所管している高圧ガス保安法に係る権限の一部が移譲されることから、当該事務を円滑に行うため、新たな査察執行体制の整備に向け、関係条例及</p>	<p>○火薬類施設に立入検査を計画的に実施し、保安の確保に努めるよう指導した。</p> <p>○高圧ガス保安法に係る事務を円滑に行うため、関係条例及び規程等を改正した。</p>	指導課
	<p>【成果指標】</p> <p>○火薬類施設に対する査察実施率 100% (平成29年度査察実施数/平成29年度査察実施計画数)</p> <p>○関係条例等の改正及び千葉市予防査察規程等の改正</p>	<p>《成果》</p> <p>○火薬類施設に対する査察実施率 137% (平成29年度査察実施数63/平成29年度査察実施計画数46)</p> <p>○関係条例等の改正及び千葉市予防査察規程等の改正</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・千葉市高圧ガス保安法施行細則及び千葉市高圧ガス保安法施行</li> <li>・細則に関する事務処理規程、千葉市高圧ガス規制審査指針及び千葉県高圧ガス保安基準の制定</li> <li>・千葉市予防査察規程及び千葉市予防査察規程運用要綱の一部改正</li> </ul>	
重点施策27	指導行政に必要な審査指針等の整備	実施状況	所管課
重点取組事項	<p>○危険物許認可等の事務処理を統一かつ適正に行うため、消防法令の改正に対応した危険物規制審査指針等の改正を行います。</p> <p>○消防同意等の事務処理を統一かつ適正に行うため、消防用設備等技術基準等の改正を行います。</p> <p>○火薬類取締法に係る事務処理を統一かつ適正に行うため、千葉県と連携強化を図</p>	<p>○危険物規制審査指針に地下貯蔵タンクの砕石基礎による施工方法に係る事項等を追加した。</p> <p>○技術基準に光警報装置の設置に係るガイドラインを、特例基準に消火器標識のピクトグラムの基準を、質疑応答集に新たな質疑をそれぞれ追加した。</p> <p>○千葉県と共同で火薬類規制審査指針を整備した。</p>	指導課
	<p>【成果指標】</p> <p>○危険物規制審査指針等の改正（平成29年度修正版）</p> <p>○消防用設備等技術基準等の改正（平成29年度修正版）</p> <p>○火薬類規制審査指針等の整備（平成29年度制定）</p>	<p>《成果》</p> <p>○危険物規制審査指針の一部改正（平成29年度修正版）</p> <p>○消防用設備等技術基準、消防用設備等特例基準及び消防用設備等の質疑応答集等の一部改正（平成29年度修正版）</p> <p>○火薬類規制審査指針の一部改正（平成29年度制定）</p>	